

県外派遣報告書

審判員名	北島寛臣	所属	高体連		
大会名	平成25年度関東高等学校男子バスケットボール大会				
期間	平成25年5月31日(金)～6月2日(日)				
会場	船橋市総合体育館				
スケジュール					
期 日	内 容	場 所			
5月31日(金)	審判会議	船橋市総合体育館			
6月1日(土)	1,2回戦	船橋市総合体育館			
6月2日(日)	準決勝 決勝	船橋市総合体育館			
会議 講義 内容					
<p>審判会議において今回指名で派遣された小沢勤氏よりレクチャーが行われた。今回は校務のため参加することができずに大変残念であった。</p> <p>最終日の朝には同じく指名で派遣された清水幹治氏よりレクチャーが行われた。プレイの見方について具体的に6項目(トレイルの追従、オールコートにおけるトレイル、リードの協力、トレイルからのペネトレイト、ドライブに対するスペースウォッチング、プレイを見に行くということ、ソフトセンターリングとファインセンターリング)をあげ、わかりやすく説明していただいた。</p>					
実技					
担当試合	期 日	6月1日(土)	男子	Aブロック2回戦	
	対戦カード	国学院久我山	VS	土浦日大	主審
	相手審判	山崎敬次郎氏(千葉)			
ミーティング内容		主任 小澤 勤 氏			
<p>ゲーム全体を通してはコントロールされていた。</p> <p>1:1の局面においてディフェンスが寄せて触れ合いがあったものについての見極めをしっかりとする必要がある。この試合ではほとんど笛がなかった。見極めをして判定をしっかりとしてほしい。リバウンド時の整理。もう少し早い段階で笛を入れることで後半はもう少しすっきりとプレイが進行していったと思われる。と反省していただいた。</p>					
担当試合	期 日	6月2日(日)	男子	Bブロック決勝	
	対戦カード	桐生第一	VS	慶應義塾	第2副審
	相手審判	渡辺 整氏(栃木) 三好啓太氏(千葉)			
ミーティング内容		主任 佐藤 誠 氏			
<p>オールコートのディフェンスを展開していた時のセンターライン付近の中盤の攻防についてに目がしっかりとあたっておらず、整理されていなかった。ゲームの中の感じ方について指摘された。また、プレイの判定をする際の判断材料についてしっかりとした根拠を持てるようにしなければならないと指摘された。例えば、ディフェンスがセミサークル内に両足が入っているか否か、リーガルガーディングポジションを取っているか否か、それに対してオフェンスがどこから跳んできたのか等、しっかりと説明できるようにしなくてはならないと言って頂いた。</p>					
全体の感想					
<p>一つ一つのプレイに対する説明責任を果たすということがどういうことなのか、という点についての自分自身の甘さが再認識されたと思う。2パーソン、3パーソンともにプレイへの気づき、判定の判断基準についてももう少し厳しく考え認識していかなければならないと感じた。</p> <p>また、3パーソンについてはメカニックについてももう少しマニュアル等で確認していかなければならない。自分自身焦点がぼやけてしまうことがあり、ポイントを整理する必要があると感じた。</p> <p>今回の関東大会において千葉県協会の皆様大変お世話になりました。この場をお借りしてお礼申し上げます。また、派遣させていただいた埼玉県協会のためにも今回の派遣で得たことを埼玉県のために生かしていきたいと思っております。ありがとうございました。</p>					